

にしざき じんご 西甚 報告

発行 / 西崎甚吾後援会事務所
志摩市阿児町神明 878-112
TEL/FAX 0599-43-2101
メール nishijin@ypost.plala.or.jp



平成 24 年 第 4 回 志摩市議会定例会が開催されました。(会期 11 月 30 日～ 12 月 21 日)
提出議案 (・専決処分の承認 1 件・条例の制定/一部改正 15 件・補正予算 8 件・
指定管理者の指定 5 件・選挙管理委員会の選挙 1 件・工事請負契約の締結 3 件) は
常任委員会・特別委員会での審査と本会議の審議が行われました。
「志摩市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正」議案は撤回されましたが、
他の議案すべては採択され可決しました。
一般質問は 12 月 6 日に 6 名の議員が行いまして、

ホームページも

フォーラム未来

西崎甚吾

検索

ごらん下さい。

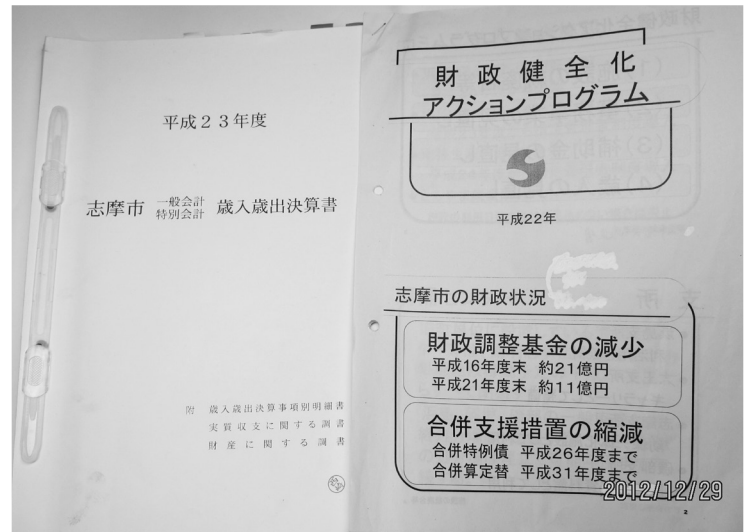
◎◎「報告・連絡・相談」の「ハウレンソウ議員」★☆☆西崎甚吾は、次のような質問を行いました。

「平成 23 年度決算」の総括と審査意見について見解を問う!

- 「23 年度決算」の総括、つまり決算結果と、今後の課題について、執行部はどう捉えているのか。
- 監査委員の「審査意見書」で、決算が 3 年続けて良好であったのは、行財政改革等が進んだ結果ではなかったと指摘されているが、見解はどうか。

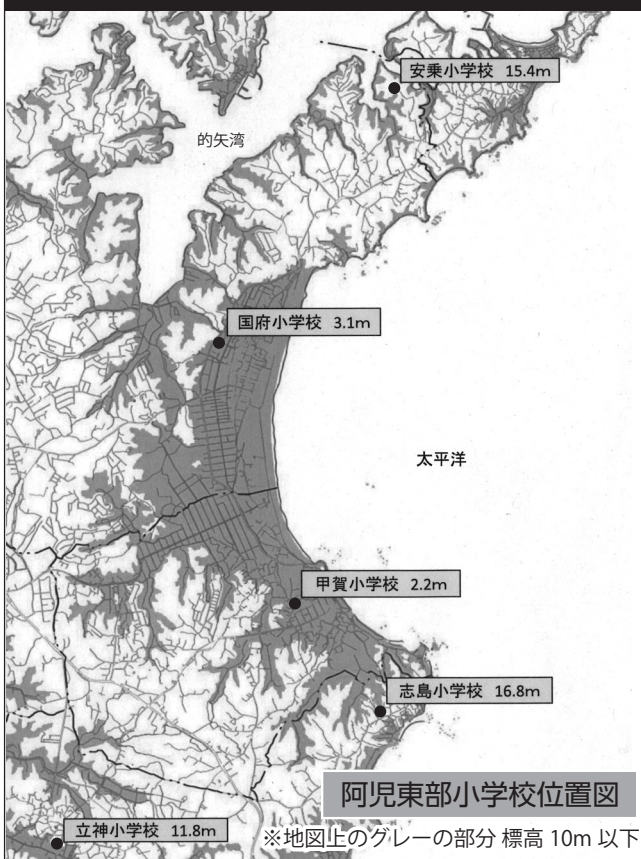
「財政健全化」を目指す「予算編成」について見解を問う!

- 今年度から予算編成に、**枠配分方式と一件査定方式**の併用方式の予算編成に変えたのはなぜか。また、事業の見直し、経費の削減に取り組んでいく 25 年度予算編成について尋ねる。
- 市長は選挙公約で、25 年度に「志摩市財政健全化会議」を立ち上げ、26 年度には「財政健全化アクションプログラム」を見直すと約束されたが、具体的な考えを聞きたい。
- 今の「財政健全化アクションプログラム」は、市民・議会・行政が議論を全くしないで行政がつくったプログラムで、市民の理解や協力が得られなかった要因であったと思うがいかがか。
- 参考とする丹波「篠山市再生計画」の中にある「合併時の職員数を 25 年度には 250 人減とする**職員数 450 人の適正化**」と「20 年 10 月から実行する**職員給与 10%引き下げ実施**」この取り組みについて、市長の見解は。



以上のような内容で 12 月 6 日に、一般質問を行いました。次号の『議会だより』に掲載されますので、ご覧いただきますようお願い申し上げます。

阿児町・東部地区 5 小学校を再編「新築移転」を実施する!



平成 21 年 11 月の「志摩市立小中学校再編基本計画」では、平成 31 年 4 月に立神小学校・甲賀小学校・志島小学校は→甲賀小学校を使用した 3 校統合小学校。また、国府小学校・安乗小学校は→国府小学校を使用した 2 校統合小学校。とする再編案を示していた。

しかしながら、阿児地区市民集会 (平成 22 年度と平成 23 年度) では、沿岸低地に位置する学校を使用した再編には、大きな心配・不安があり反対意見多数あり。

平成 23 年 3 月 11 日「東日本大震災発生」大津波による沿岸低地での大被害を教訓に「**甲賀小学校と国府小学校を使用する学校の編成は白紙とする**」ことを決定した。

平成 24 年 12 月議会において、市長は「市政運営の基本方針と所信表明」の中で、阿児東部地区にある **5 小学校を再編し、高台への (仮称)「東海小学校」新築移転**を実施すると表明しました。

平成 25 年度から学校整備事業計画の予算化を図り、自治会代表者・保護者代表者・学校関係者等との協議が始まります。

阿児東部小学校位置図

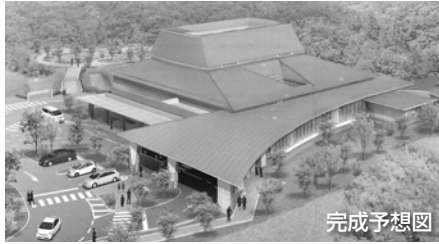
※地図上のグレーの部分 標高 10m 以下

志摩市「新火葬場」 工事請負業者決定 契約締結！

平成 26 年 4 月から開設、運営予定の（仮称）「志摩市営火葬場」建設事業

- 所在地／磯部町三ヶ所字西浦 119 番 4 ●総敷地面積／約 25,000 ㎡
- 建築面積／約 2,000 ㎡ ●建物／鉄筋コンクリート造、地上 2 階建 1 棟
- 火葬炉整備／人体炉 4 基、動物炉 1 基
- 総事業費／約 16 億 3,000 万円（施設費＋その他関連費用）

平成 24 年 12 月 12 日
市役所 4 階において
火葬場建設事業の入札が実施された。
この建設事業は 3 つの工事に
分離発注されて落札業者が決定した。
平成 24 年 12 月 21 日志摩市議会は、
この契約締結を全員賛成で可決した。



完成予想図

契約の目的／志摩市火葬場建設事業（平成 24～25 年度・継続工事）
契約の方法／条件付一般競争入札（事前審査方式）

(1) 建設工事入札結果			
石吉・坂下特定建設工事共同企業体	5 億 5,810 万円	順位 1	落札決定
磯部・出馬特定建設工事共同企業体	5 億 5,820 万円	順位 2	
山下・作田特定建設工事共同企業体	5 億 5,790 万円	失格	

(2) 電気設備工事入札結果			
トーエネック・ 山川特定建設工事共同企業体	1 億 7,317 万円	順位 1	落札決定
日本ファシリオ・ 志摩電気特定建設工事共同企業体	1 億 7,323 万円	順位 2	
明光・ユタカ特定建設工事共同企業体	1 億 7,368 万円	順位 3	
シンフォ・東山特定建設工事共同企業体	1 億 7,313 万円	失格	

(3) 機械設備工事入札結果			
日本ファシリオ・ 出馬電機特定建設工事共同企業体	1 億 4,409 万円	順位 1	落札決定
テクノ菱和・ 畑中特定建設工事共同企業体	1 億 4,435 万円	順位 2	
川崎・前橋特定建設工事共同企業体	1 億 4,406 万円	失格	
日管・宮柴特定建設工事共同企業体	1 億 4,405 万円	失格	

上記落札額に消費税 5 % を加算された金額で、市は落札業者と契約した。

「志摩消防署・新庁舎」 長沢へ整備計画 撤回される！

平成 24 年 2 月、志摩広域消防組合 24 年度当初予算において、
消防本部庁舎整備事業関係予算 3,850 万円が認められて、
建設予定地とされていた長沢運動公園再整備の件ですが、
平成 24 年 12 月 21 日志摩市議会本会議におきまして、
25 年 4 月から、神明長沢運動公園の多目的広場を廃止し、
船越中学校運動場を社会体育施設グラウンドに改める議案
「志摩市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正」は、
更に精査や協議を行う必要があるということで撤回されました。

- 長沢運動公園全体の再整備方針・計画が整理されていない。
- 運動グラウンド施設であるスポーツ財産を無くしてもいいのか。
- 市民の理解や地域の合意が得られていないではないか。

などの理由で、議会内での賛同も難しい状況でありました。

志摩広域消防本部庁舎整備事業の根拠とは

- 消防救急無線は平成 28 年 5 月までに、アナログからデジタルに移行しなくてはならない。
- 消防指令台が設置後 15 年経過しており、新しい消防指令センター整備が急がれている。
- 消防本部庁舎は既に 40 年近く経過した建物で、車庫については耐震構造がされていない。
- 新庁舎には、志摩市防災センター機能を併設し、災害対策本部の市役所からの移行も可能とする。

建設用地の選定に関しては、撤回されましたが消防本部庁舎整備は、
志摩広域消防組合で決定されていることであります。
志摩市は長沢へ変る消防庁舎建設用地を早急に選定し、
事業を推進する責任があるわけです。

志摩市の「病院事業」 経営基盤強化策について！

平成 24 年度も 12 月議会の一般会計補正予算で追加負担金
2 億円が認められ、これで病院事業への繰出額は 5 億円に上がり、
平成 24 年度末 3 月には、一般会計からの繰出額は、約 7 億円
（純利益がマイナス約 7 億円）になるのではと予想されています。
平成 24 年度「施政方針」で市長は「持続可能な病院・診療所経営」
の実現を図るため、健全経営の方策及び経営形態について
抜本的な改革計画を策定する。と表明し、平成 24 年度予算で
「病院経営基盤強化策」策定業務委託料 850 万円を計上した。
強化策の答申があり（全体概要）だけの資料を 12 月 17 日の
全員協議会で説明された。

- ### 経営基盤強化策策定の趣旨
- 公的医療機関として、地域の医療需要や医療提供状況により、提供すべき「診療機能」を明確にする。
 - 志摩市の財政負担も考慮し、健全経営を実現するために必要な「運営のあり方」も明確にする。

- ### 運営形態の検討結果
- 収支の視点と診療機能の視点 & 実現性と継続性の視点から
「志摩市病院事業の各施設」における、運営形態を
検討した結果は次の通りとする。
- 志摩市民病院／一部適用で継続（収支改善が進まない場合、指定管理者制度の導入検討）
 - 浜島診療所／公設民営（事業者への賃貸）民間への移行
 - 前島診療所／指定管理者との契約期間中は外来診療を継続
将来的には市民病院の外来機能との統合検討
 - 志摩市訪問看護ステーション／市民病院の運営形態に合わせて変更

以上が（全体概要）で示された内容の一部です。年度末（平成 25 年 3 月）までには、経営基盤強化策全体が発表され、制定される予定であります。



平成二十五年一月吉日

後援会・会長ご挨拶

あけましておめでとうございませう。皆様にはご健勝にて輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。西甚後援会も、おかげさまで 11 年目を迎えることとしております。市を取り巻く状況は依然として厳しいなか、今年には市議会議員の改選が行われます。議員定数が（2 人減の）20 人となる非常に厳しい選挙に挑戦する年でもありますので、どうか、会員の皆様様のこれまでに増したお力添えを心からお願ひ申し上げます。本人は、「報告は欠かさず」「連絡を大事に」「相談はいつでも」の「ホウレンソウ」議員をモットーに、議会活動に一生懸命取り組んで当選以来、議会報告を年 4 回欠かさず継続して「西甚報告」として、お届けして参りました。これからも、皆様のご信頼にこたえていただけるものと確信しております。私も後援会・会長の重責をまっとうさせていただきますように、議員と一つになって懸命に働かせていただく決意でございますので、会員の皆様様の変わらぬ温かい御支援、御協力を重ねてお願いいたします。年頭のご挨拶といたします。

西崎甚吾 後援会
会長 西崎 金吾